

ベネッセハウス 宿泊者特典を刷新

時間に縛られない より自由なアート体験へ

2027年4月より宿泊者向け特典「アートインクルーシブ」を提供開始



ベネッセハウス ミュージアム Photo: FUJITSUKA Mitsumasa

株式会社直島文化村（本社：香川県香川郡、代表取締役社長：吉田 浩一）が運営するベネッセハウスは、2027年4月1日ご宿泊分より、宿泊者向け特典を刷新し、島内のアート施設をこれまで以上に自由にお楽しみいただける新たな滞在体験「アートインクルーシブ」の提供を開始いたします。

本特典「アートインクルーシブ」により、対象となるアート施設へチケット購入なしでご入館いただけるほか、事前のオンライン予約も不要となり、ご宿泊の皆さまがその日の気分や滞在スタイルに合わせて、より自由にアートを巡ることが可能になります。

ベネッセアートサイト直島では、時間帯や天候、季節によって刻々と表情を変える風景や作品との出会いがあります。旅のスケジュールに合わせて施設を訪れるのではなく、その時々感じた興味や発見に導かれながらアートと向き合うことは、直島ならではの滞在の楽しみ方です。

ベネッセハウスは今回の特典刷新を通じて、ご宿泊の皆さまが事前予約や時間指定にとらわれることなく、美術館を訪れ、島内を散策し、あるいは時間を変えて再び作品と向き合うなど、心の赴くままに島を巡り、より深くアートに浸る滞在体験をご提供することを目指します。

なお、本サービスは2027年4月からの適用を予定しております。対象施設や詳細な利用方法につきましては、2027年1月頃に改めてご案内いたします。

取材のお問合せはこちら

ベネッセアートサイト直島 広報担当 ステンランド、笠原

〒761-3110 香川県香川郡直島町850-2 Tel. 087-892-2887 E-mail: BASN-press@mail.benesse.co.jp

Benesse
Art Site
Naoshima

ベネッセハウス宿泊者特典「アートインクルーシブ」とは

ベネッセハウスご宿泊者様に直島内にある以下美術館の入館チケットを購入することなく、開館時間中は美術館を自由にご鑑賞いただける滞在体験です。対象施設は以下の通りです。

<アートインクルーシブ対象施設>

ベネッセハウス ミュージアム(ヴァレーギャラリー含む)、杉本博司ギャラリー 時の回廊、直島新美術館、地中美術館、李禹煥美術館、家プロジェクト（「きんざ」を除く）、ANDO MUSEUM、Ring of Fire - ヤンの太陽&ウィーラセタクンの月（Lunar（夜）を除く）

※入館のみが対象。杉本博司ギャラリー 時の回廊の呈茶、地中美術館のオープンスカイナイトプログラムなどプログラムなどは含みません。

※家プロジェクト「南寺」については時間予約が必要です。予約方法などの詳細は別途、公式ウェブサイトにてお知らせします。

ベネッセハウスについて

ベネッセハウスは「自然・建築・アートの共生」をコンセプトに、美術館とホテルが一体となった施設として1992年にオープンしました。「ミュージアム」「オーバル」「パーク」「ビーチ」の宿泊棟4棟と、一般の方もご利用いただけるレストランやカフェ、スパ・ショップを併設しています。

建築はすべて安藤忠雄の設計によるもので、経年とともに瀬戸内海国立公園の環境と溶け込むように構成。長いスロープや階段、通路による移動、切り取られた開口部から注ぎ込む外光など、施設内外の現代アートを身体全体で感じられる工夫がなされています。

ベネッセアートサイト直島について

「ベネッセアートサイト直島」は、直島・豊島（香川県）、犬島（岡山県）を舞台に株式会社ベネッセコーポレーションと公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。

瀬戸内海の風景の中、ひとつの場所に、時間をかけてアートをつくりあげていくこと——各島の自然や、地域固有の文化の中に、現代アートや建築を置くことによって、どこにもない特別な場所を生み出していくことが「ベネッセアートサイト直島」の基本方針です。

各島でのアート作品との出会い、日本の原風景ともいえる瀬戸内の風景や地域の人々と触れ合いを通して、訪れてくださる方がベネッセグループの企業哲学である「ベネッセ＝よく生きる」とは何かについて考えてくださることを目指しています。

そして、活動を継続することによって地域の環境・文化・経済すべての面において社会貢献できるよう、現代アートとそれを包括する場である地域がともに成長し続ける関係を築いていきたいと考えています。